参考資料

健康いわき２１(第三次)【概要版】

いわき市健康づくり推進課

第3次計画策定のポイント

全体構成

✔ **国「健康日本21」、県「健康ふくしま21」に準じた構成**（施策体系図）とする。

✔ **「市食育推進計画」を内包**し、一体的に策定する。

基本理念

✔ 第2次計画同様、**「心身ともに健康で、いきがいを持って生活できる」**とする。

主な留意点

✔ **『重点指標』を設定**する。

※ 国県統計データと比較できるなど、客観的な評価ができる指標を8つ設定。

✔ **『重点プロジェクト』を設定**する。

※ 重点指標との関連性が高い施策を5つ設定。

✔ **市民の行動変容につなげるわかりやすい計画**とする。

※ 国県比較によるデータの見える化、わかりやすい言葉やイラストの使用、ライフコース別の「アクションプラン」の提示。

※ 概要版リーフレット、ライフコース別啓発チラシの作成。

※ 分野別(喫煙・飲酒・睡眠など)に対応した市民向け啓発動画の作成。

毎年度、「健康いわき推進会議」で、重点指標の現状値の把握や、重点プロジェクトの進捗状況等による評価検証等を行い、計画の着実な推進を図る。

第１章　計画の概要
計画の目的、位置付け、国県の動向、計画期間　等
第２章　いわき市の現状
市民の健康状態　等
第３章　これまでの取組みと課題
市民アンケート調査の結果、現計画(健康・食育)の評価　等
第４章　計画の基本方針
計画の基本理念、施策展開の視点、数値目標　等
第５章　分野別の施策展開
第６章　いわき市健康長寿重点プロジェクト
第７章　推進体制

第1章　計画の概要

計画の目的、位置付け、国県の動向、計画期間　等

第2章　いわき市の現状

市民の健康状態　等

第3章　これまでの取組みと課題

市民アンケート調査の結果、現計画(健康・食育)の評価　等

第4章　計画の基本方針

計画の基本理念、施策展開の視点、数値目標　等

第5章　分野別の施策展開

第6章　いわき市健康長寿重点プロジェクト

第7章　推進体制

第１章　計画の概要[2 目的　3 計画の位置付け　5 計画期間]

計画の目的

○ 本市は、全国的な傾向同様、**少子高齢化、人口減少等が進行**している。

○ 働き方をはじめ、**生活習慣の多様化**などから、食習慣の乱れ、生活習慣病の増加、心理的ストレスや社会参加の減少など、**様々な健康課題を抱えている。**

○ 健康寿命（お達者度）や心疾患及び脳血管疾患の標準化死亡比、特定健診受診率等の**健康指標が国や県、県内他市と比較し、低迷している状況となっており、健康指標の改善が喫緊の課題**。

○ 健康課題の解消に向け、**変化する社会環境やニーズに対応**しながら、市民一人ひとりの健康づくりへの取組みや、ICT技術を利用した健康増進事業、健康経営の拡大など、**多種多様な取組みを推進していく**必要がある。

○ 本計画では、市民アンケート調査の結果や、国の「健康日本21（第三次）」及び県の「第三次健康ふくしま21」の方向性等を捉え、**健康課題を踏まえた、指標や数値目標の設定、重点施策の方向性等を示す**ことで、**市民が生涯にわたり心身ともに健康で、生き生きと生活ができる健康長寿社会の実現を目指すことを目的に策定**するもの。

計画の位置付け

○ 本計画は、**健康増進法第8条第2項に基づく「市町村健康増進計画」**であり、さらに、**食育基本法第18条第1項に規定する「市町村食育推進計画」として策定する「第4次いわき市食育推進計画」を内包し、一体的に策定**する。

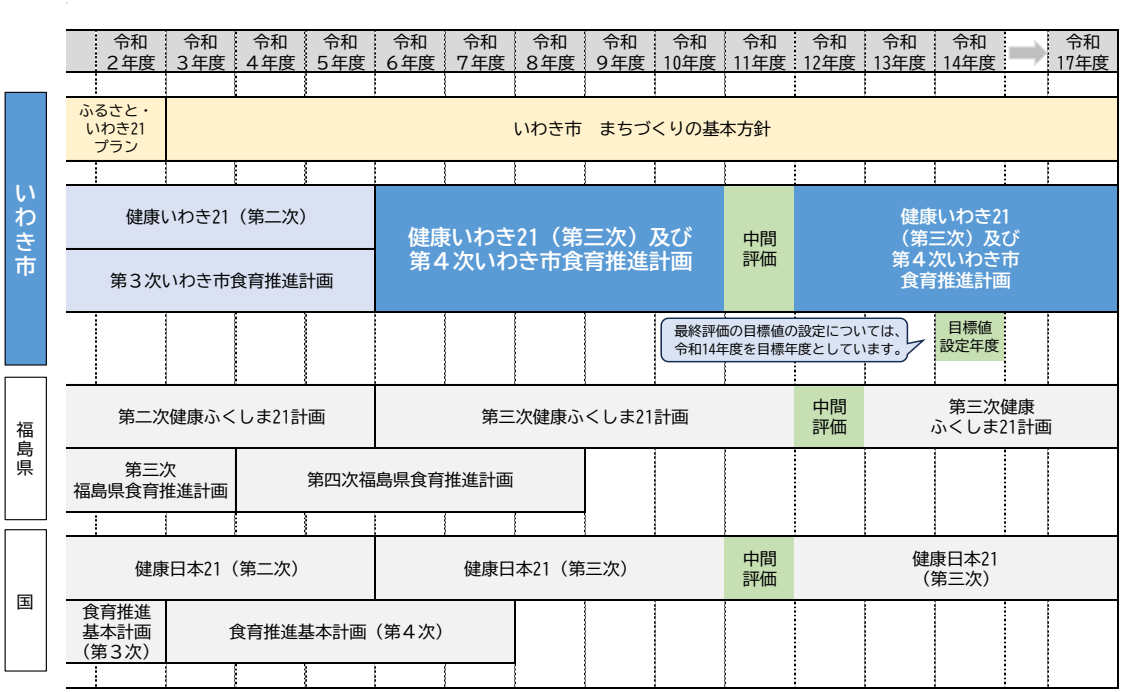
○ 「いわき市共に創る健康づくり推進条例」を踏まえながら、上位計画である「いわき市　まちづくりの基本方針」をはじめ、健康・食育に関連する各個別計画との整合を図り、**本市の健康・食育施策を着実に推進するための行動計画**とする。

計画期間

○ 本計画は、国の「健康日本21（第三次）」及び県の「第三次健康ふくしま21計画」の計画期間が12年であることに合わせ、**令和6年度（2024年度）から令和17年度（2035年度）までの12年間を計画の期間として設定**する。

○ 成果指標について、実質的な改善効果を中間段階で確認できるよう、**令和11年度に中間評価を実施**する予定。

【健康いわき21（第三次）の計画期間】



第1章　計画の概要[4 国・県の動向]

「健康日本21」の方向性

〇計画期間：令和6（2024）年度から令和 17（2035）年度までの12年間

予想される社会変化

・少子化・高齢化の進展、総人口・生産年齢人口の減少、独居世帯が増加。
・女性の社会進出、労働移動の円滑化、仕事と育児・介護との両立、
　多様な働き方の広まり、高齢者の就労拡大などを通じ社会の多様化。
・次なる新興感染症も見据えた新しい生活様式への対応　など

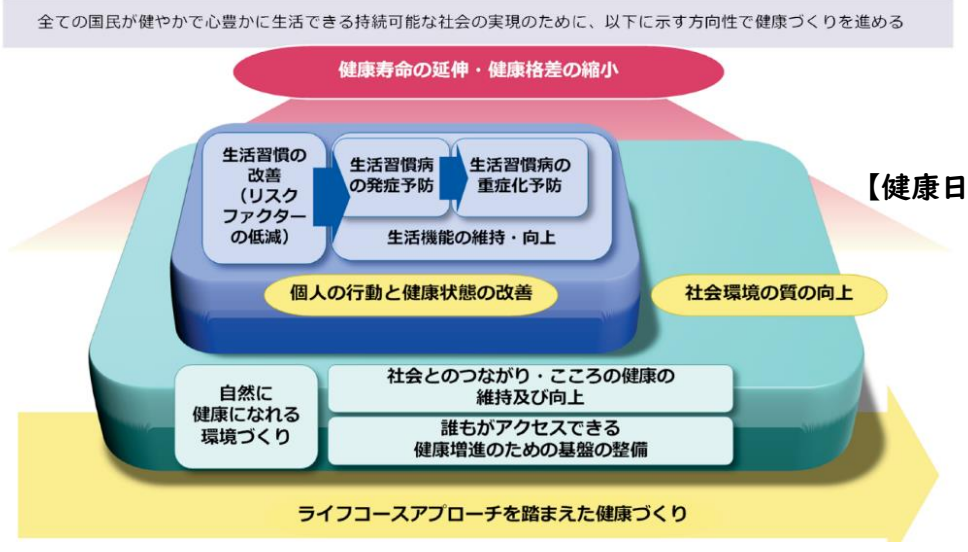
ビジョン

今後予想される社会変化や課題を踏まえ、「全ての国民が健やかで
心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」を目指す。

基本的な方向

① 健康寿命の延伸・健康格差の縮小　② 個人の行動と健康状態の改善
③ 社会環境の質の向上　④ ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

※ ライフコースアプローチ：胎児期から高齢期に至るまでの人の生涯を経時的に捉えた健康づくり



【健康日本21（第三次）の概念図】

「健康ふくしま21計画」の方向性

〇計画期間：令和6（2024）年度から令和 17（2035）年度までの12年間

基本理念

誰もがすこやかにいきいきと活躍できる 笑顔あふれる健康長寿ふくしまの実現

基本方針

① 全ての県民に対し個々の状況に応じた最適な健康づくり施策の展開
② 健康課題・健康指標の改善につながるより実効性のある取組の推進

主要施策

【基本目標】健康寿命の延伸と健康格差の縮小
① 個人の行動と健康状態の改善（生活習慣の改善、生活習慣）
② 社会環境の質の向上
③ ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり
④ 東日本大震災・原子力災害の影響に配慮した健康づくり

第１章　計画の概要

計画の目的、位置付け、国県の動向、計画期間　等

第２章　いわき市の現状

市民の健康状態　等

第３章　これまでの取組みと課題

市民アンケート調査の結果、現計画(健康・食育)の評価　等

第４章　計画の基本方針

計画の基本理念、施策展開の視点、数値目標　等

第５章　分野別の施策展開

第６章　いわき市健康長寿重点プロジェクト

第７章　推進体制

こどもの健康課題

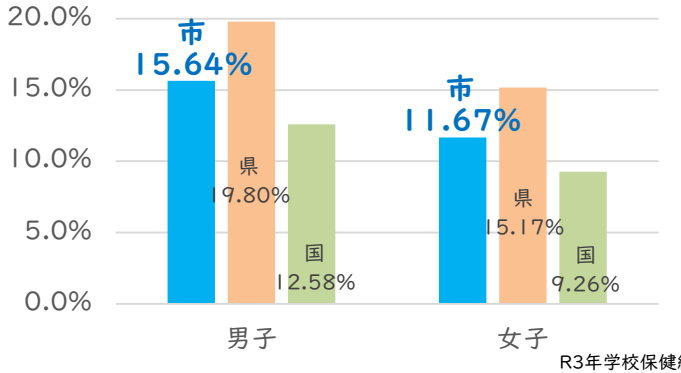
肥満傾向

肥満傾向児の割合(10歳)

10歳　男子　15.64%　県 19.80% 国 12.58%

10歳　女子　11.67%　県 15.17% 国 9.26%

県は下回っているものの国を大幅に上回っている。



R3年学校保健統計調査

運動能力の低下

体力・運動能力テスト(総合得点平均値)

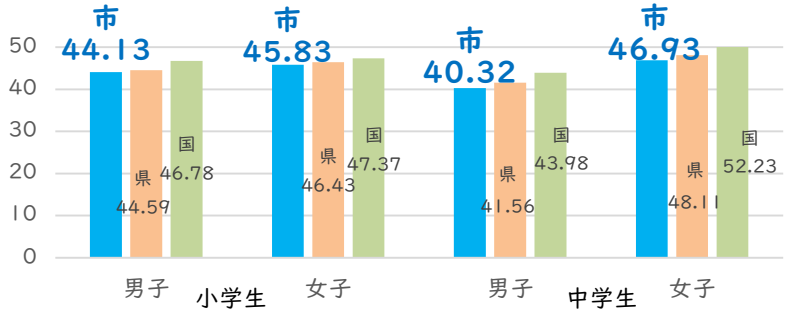
小学生　男子　44.13　県 44.59 国 46.78

小学生　女子　45.83　県 46.43 国 47.37

中学生　男子　40.32　県 41.56 国 43.98

中学生　女子　46.93　県 48.11 国 52.23

小・中学生の男女ともに国県を下回っている。



R3年体力・運動能力調査

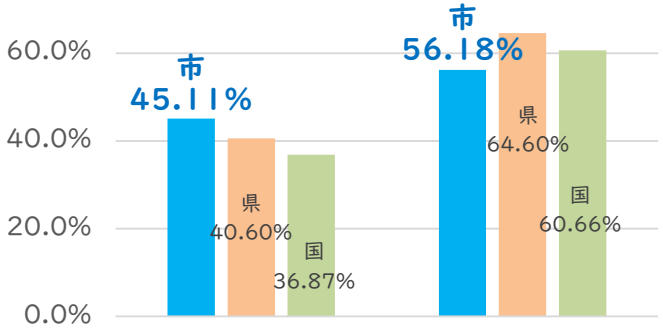
視力低下

裸眼視力1.0未満者の割合

小学生　45.11%　県 40.60% 国 36.87%

中学生　56.18%　県 64.60% 国 60.66%

小学生は国県を大幅に上回っている。



R3年学校保健統計調査

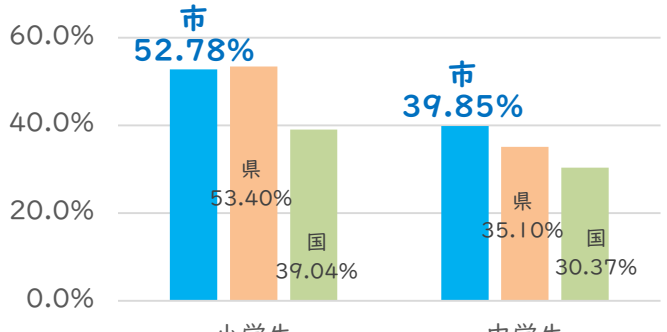
むし歯有病率が高い

むし歯有病率

小学生　52.78%　県 53.40% 国 39.04%

中学生　39.85%　県 35.10% 国 30.37%

小学生は国を、中学生は国県を大幅に上回っている。



R3年学校保健統計調査

大人の健康課題

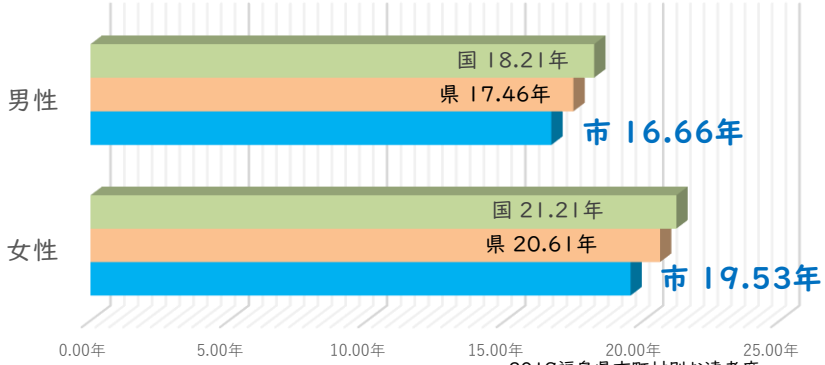
健康寿命が短い

健康寿命（お達者度）

男性　16.66年　県　17.46年　国　18.21年

女性　19.53年　県　20.61年　国　21.21年

男女ともに国県を下回り、県内13市ワースト1位。



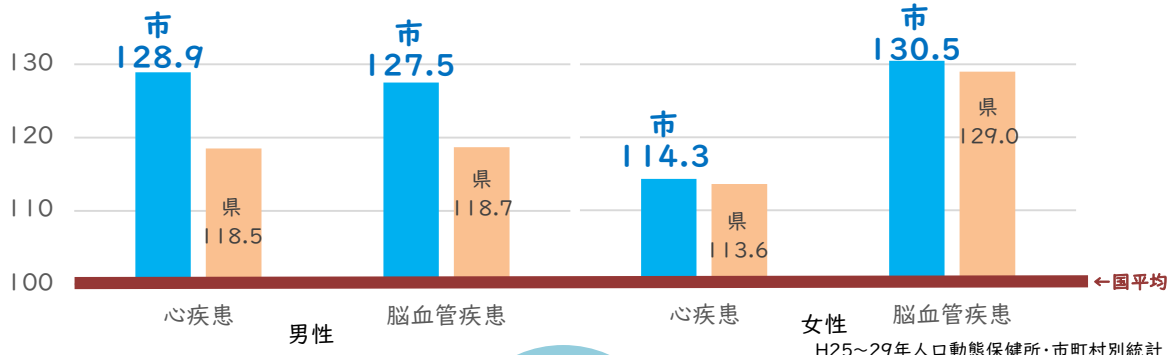
2019福島県市町村別お達者度

循環器系疾患死亡者が多い

標準化死亡比(国平均100)

	心疾患		脳血管疾患	
男性	128.9	県 118.5	127.5	県 118.7
女性	114.3	県 113.6	130.5	県 129.0

男女とも国の平均を超えており、特に男性は県内13市内で低迷。



H25～29年人口動態保健所・市町村別統計

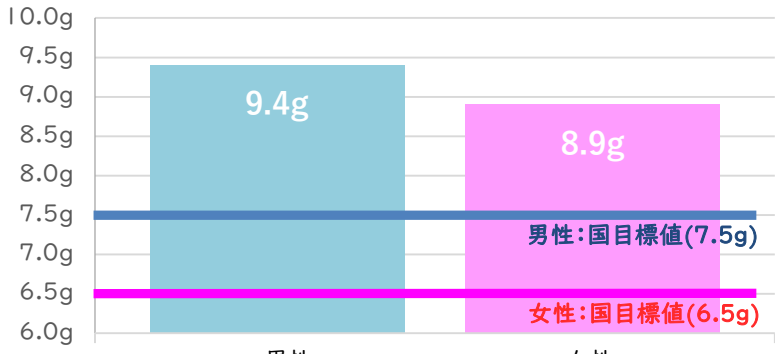
食塩摂取量が多い

食塩摂取量

男性9.4g　国目標値 7.5g

女性8.9g　国目標値 6.5g

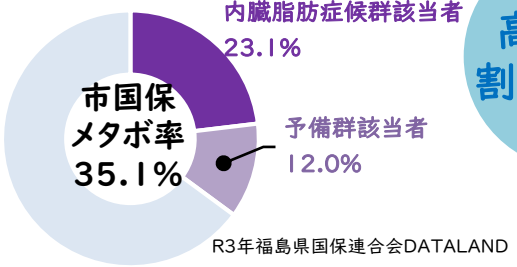
男女とも国の目標値を大幅に上回っている。



R4年いわき市特定健診・健康診査

メタボ率が高い

県と同水準

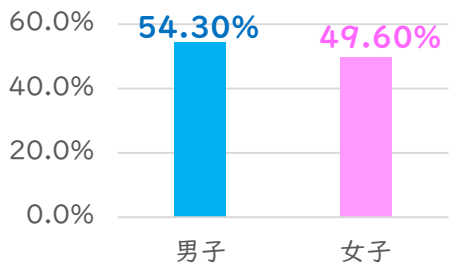


R3年福島県国保連合会DATALAND

県 35.0%(該当者22.8％ 予備軍12.2％)

高血圧の割合が多い

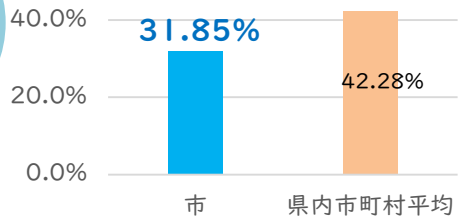
約半数が高血圧



R3年福島県国保連合会DATALAND

特定健診受診率が低い

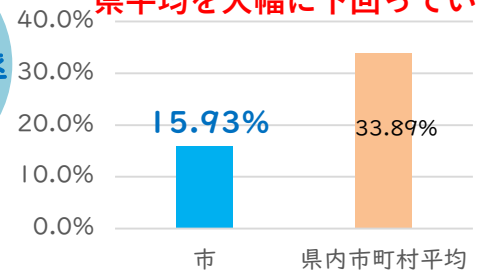
県平均を大幅に下回っている



R4年ふくしまの国保のすがた

特定保健指導実施率が低い

県平均を大幅に下回っている



R4年ふくしまの国保のすがた

第１章　計画の概要

計画の目的、位置付け、国県の動向、計画期間　等

第２章　いわき市の現状

市民の健康状態　等

第３章　これまでの取組みと課題

市民アンケート調査の結果、現計画(健康・食育)の評価　等

第４章　計画の基本方針

計画の基本理念、施策展開の視点、数値目標　等

第５章　分野別の施策展開

第６章　いわき市健康長寿重点プロジェクト

第７章　推進体制

朝食の摂取率が低い

学童期・青年期において、毎日朝食を食べる割合が悪化
食習慣形成づくりが課題

【学童期・青年期】毎日朝食を食べる割合

学童期	現状値	76.0%	目標値	100.0%	改善度	▲
青年期	現状値	76.2%	目標値	100.0%	改善度	▲

国 目標値

子供の朝食欠食率　0%

若い世代の朝食欠食率　15.0%以下

運動習慣の低下

全世代において、運動習慣に関する指標が目標値未達成
コロナ禍の影響を乗り越えた運動習慣づくりが課題

【学童期】体育以外に運動する小中学生の割合

現状値	60.5%	目標値	76.0%	改善度	▲

【青年期～高齢期】運動を週3回以上する人の割合

青年期	現状値	18.0%	目標値	31.0%	改善度	▲
壮年期	現状値	22.5%	目標値	51.0%	改善度	▲
高齢期	現状値	42.3%	目標値	53.0%	改善度	▲

塩分摂取量が多い

生活習慣病の要因となる高血圧対策が課題
意識・行動・環境づくりの視点で早期からの減塩対策が重要

【壮年期・高齢期】塩分を摂りすぎていると考えられる人の割合

壮年期	現状値	2.6%	目標値	2.1%	改善度	▲
高齢期	現状値	7.4%	目標値	6.5%	改善度	▲

喫煙者が多い

循環器病・がん・COPD対策としてたばこ対策が課題

【青年期～高齢期】喫煙する人の割合

青年期	現状値	6.8%	目標値	10.0%	改善度	◎
壮年期	現状値	19.7%	目標値	20.0%	改善度	◎
高齢期	現状値	9.9%	目標値	9.4%	改善度	▲

全体平均　12.3%
男性　20.0%
女性　6.9%

喫煙率(FDB[福島県版健康データベース報告書2023])

市　25.2%(男性37.6%、女性12.3%)
県　23.3%(男性36.3%、女性10.4%)

県平均を上回る喫煙率
特に女性の喫煙率が高いのが特徴

飲酒頻度が多い

循環器病対策として飲酒対策が課題

【青年期～高齢期】毎日飲酒する人の割合

青年期	現状値	7.5%	目標値	4.1%	改善度	▲
壮年期	現状値	25.8%	目標値	24.0%	改善度	▲
高齢期	現状値	19.7%	目標値	18.5%	改善度	▲

全体平均　18.9%
男性　31.6%
女性　10.6%

ほとんど毎日飲酒する者の割合(FDB[福島県版健康データベース報告書2023])

市　27.5%(男性41.2%、女性13.0%)
県　28.0%(男性43.6%、女性12.2%)

女性の飲酒割合が高いのが特徴

第１章　計画の概要

計画の目的、位置付け、国県の動向、計画期間　等

第２章　いわき市の現状

市民の健康状態　等

第３章　これまでの取組みと課題

市民アンケート調査の結果、現計画(健康・食育)の評価　等

第４章　計画の基本方針

計画の基本理念、施策展開の視点、数値目標　等

第５章　分野別の施策展開

第６章　いわき市健康長寿重点プロジェクト

第７章　推進体制

基本理念 MISSION

心身ともに健康で、いきがいを持って生活できる

基本方針 VISION

若年層からの生活習慣病の予防・改善

行動指針 VALUE

基本的な方向・主要施策

① 健康寿命の延伸と健康格差の縮小
② 個人の行動と健康状態の改善
③ 社会環境の質の向上
④ ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

重点プロジェクト

① 減塩食普及プロジェクト「いわきひとしお」の推進
② スポーツの力を活用した運動習慣づくりの推進
③ 生活習慣病の発症予防・重症化予防の強化
④ 壮年期の健康づくり・健康経営の推進
⑤ 子ども・高齢者の健康づくりの推進

戦略 STRATEGY

3つの視点で各種施策を推進

- 環境を変える
- 意識を変える
- 行動を変える

第4章　計画の基本方針[2 計画の基本理念　3⑵施策体系図]

健康増進法

【基本方針】

○国民の健康の増進の推進に関する基本的な方向
○国民の健康の増進の目標に関する事項
○都道府県健康増進計画及び同条第二項の市町村健康増進計画の策定に関する基本的な事項
○国民健康・栄養調査その他の健康の増進に関する調査及び研究に関する基本的な事項
○健康増進事業実施者間における連携及び協力に関する基本的な事項
○食生活、運動、休養、飲酒、喫煙、歯の健康の保持その他の生活習慣に関する正しい知識の普及に関する事項
○その他国民の健康の増進の推進に関する重要事項
○市町村には、基本方針及び県の計画を基本として健康増進計画を作成する努力義務

食育基本法

○食は命の源。食育は生きる上での基本であり、知育・徳育・体育の基礎となるべきものと位置付け。
○「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てる食育を推進。
○食育推進会議（会長:農林水産大臣）において食育推進基本計画を策定（平成18・23・28年）
○市町村には、国及び県の計画を基本として都道府県・市町村の食育推進計画を作成する努力義務

基本的な方向	主要施策	
1　健康寿命の延伸と健康格差の縮小	1-1　健康寿命の延伸と健康格差の縮小	
2　個人の行動と健康状態の改善	2-1　生活習慣の改善	（1）栄養・食生活【食育推進計画】
		（2）身体活動・運動
		（3）休養・睡眠
		（4）飲酒
		（5）喫煙
		（6）歯・口腔の健康
	2-2　生活習慣病の発症予防・重症化予防	（1）がん
		（2）循環器病
		（3）糖尿病
		（4）COPD
	2-3　生活機能の維持・向上	
3　社会環境の質の向上	3-1　社会とのつながり・こころの健康の維持及び向上	
	3-2　自然に健康になれる環境づくり	
	3-3　誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備	
4　ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり	4-1　乳幼児期	
	4-2　学童期	
	4-3　青年期	
	4-4　壮年期	
	4-5　高齢期	
	4-6　女性	

重点指標

効果検証方法

統計データ、オープンデータ、市民アンケート調査等から抽出し、重点指標は毎年度検証する。
【指標設定の考え方】
○ 統計データ等から国県市の比較ができる指標を優先して設定する。
○ 統計データ以外の指標についても、国県同様の項目を設定する。
※ 客観的な視点、定量・定性的な視点を用いて効果検証を実施する。

指標名		現状値(R4)	目標値(R14)	備考
1-1 健康寿命の延伸と健康格差の縮小				
①健康寿命の延伸（お達者度の延伸）	男性	16.66年(R1)	県平均値	県内13市ワースト1位からの脱却を目指す。 現状からの更なる延伸で県平均値を目標値とする。
	女性	19.53年(R1)	県平均値	
②健康格差の縮小（お達者度の県平均との差の縮小）	男性	0.80年(R1)	0.00年	県内13市ワースト1位からの脱却を目指す。 県平均値との差を0年とすることを目標値とする。
	女性	1.08年(R1)	0.00年	
2-1 生活習慣の改善 (1)栄養・食生活				
食塩摂取量の減少（1日あたり）	男性	9.4g	7.5g	国が掲げる目標値と同じとする。
	女性	8.9g	6.5g	
2-2 生活習慣病の発症予防・重症化予防 (1)がん (2)循環器病 (3)糖尿病 (4)COPD				
脳血管疾患死亡率の減少（10万人あたり）		115.6(R3)	国平均値	高齢化に伴う死亡者数の増加が想定される中で、標準化死亡比の改善も見据え、国平均値を目標値とする。
心疾患死亡率の減少（10万人あたり）		235.5(R3)	国平均値	
メタボリックシンドローム該当者及び予備群該当者の減少（市国保）		35.09%(R3)	21.0%	県が掲げる目標値と同じとする。
喫煙率の減少		25.2%(H30~R2)	12.0%	国が掲げる目標値と同じとする。
3-2 自然に健康になれる環境づくり **3-3 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤整備**				
健康経営に取り組む企業数の増加（ふくしま健康経営優良事業所認定数[市内]）		39社	70社	県が掲げる目標値の伸びから推計した値を目標値とする。

第1章　計画の概要

計画の目的、位置付け、国県の動向、計画期間　等

第2章　いわき市の現状

市民の健康状態　等

第3章　これまでの取組みと課題

市民アンケート調査の結果、現計画(健康・食育)の評価　等

第4章　計画の基本方針

計画の基本理念、施策展開の視点、数値目標　等

第5章　分野別の施策展開

第6章　いわき市健康長寿重点プロジェクト

第7章　推進体制

第5章　分野別の施策展開

基本的な方向	主要施策	施策の方向性	重点プロジェクトとの関連性
1 健康寿命の延伸と健康格差の縮小			
	1－1 健康寿命の延伸と健康格差の縮小	Ⅰ 健康寿命の延伸に向けた取組みの推進	◎
		Ⅱ 健康格差の縮小に向けた取組みの推進	
2 個人の行動と健康状態の改善			
	2－1 生活習慣の改善		
	(1) 栄養・食生活 【第4次いわき市食育推進計画】	Ⅰ 健康寿命の延伸につながる食育の推進	◎
		Ⅱ 若い世代を中心とした食育の推進	
		Ⅲ 市民、企業、団体等との連携・協働による食育の推進	
		Ⅳ 家庭や学校・保育所等における食育の推進	
		Ⅴ 食環境の整備による食育と安全・安心な食生活の推進	
		Ⅵ 食と農の連携や食文化の継承、持続可能な食育の推進	
	(2) 身体活動・運動	Ⅰ 運動しやすい環境づくりの推進	◎
		Ⅱ スポーツによる健康づくり	
	(3) 休養 ・ 睡眠	Ⅰ 休養・睡眠に関する普及啓発の推進	
	(4) 飲酒	Ⅰ 過度な飲酒防止の普及啓発の推進	
		Ⅱ 20歳未満の者や妊産婦の飲酒防止の促進	
	(5) 喫煙	Ⅰ 喫煙者の減少に向けた取組の推進	
		Ⅱ 受動喫煙防止対策の推進	
	(6) 歯・ 口腔の健康	Ⅰ 歯・口腔に関する健康格差の縮小	
		Ⅱ 歯科疾患の予防	
		Ⅲ 口腔機能の獲得・維持・向上	
	2－2 生活習慣病の発症予防・重症化予防		
	(1) がん	Ⅰ がん予防の推進	◎
		Ⅱ がん検診の推進	
	(2) 循環器病	Ⅰ 生活習慣の改善による発症予防の推進	◎
		Ⅱ 早期発見及び重症化予防の推進	
		Ⅲ『減塩食』の普及促進	
	(3) 糖尿病	Ⅰ 生活習慣改善による発症予防	◎
		Ⅱ 早期発見及び重症化予防の推進	
	(4) COPD	Ⅰ 発症予防の推進	◎
		Ⅱ 早期発見・早期治療の推進	
	2－3 生活機能の維持・向上	Ⅰ 身体機能の維持・向上	◎
		Ⅱ こころの健康の維持・向上	
3 社会環境の質の向上			
	3－1 社会とのつながり・こころの健康の維持及び向上	Ⅰ 社会参加の促進	
		Ⅱ こころの健康の維持・自殺者数の減少	
	3－2 自然に健康になれる環境づくり	Ⅰ 自然に健康になれる環境づくり の推進	◎
		Ⅱ 身体活動・運動を促進する環境づくりの推進	
	3－3 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備	Ⅰ 誰もがアクセスできる健康情報 発信 の推進	◎
		Ⅱ 企業との連携による従業員の健康づくり・健康経営の推進	
		Ⅲ 健康的な食生活につながる基盤づくりの推進	
4 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり			
	4－1 乳幼児期		
	4－2 学童期		◎
	4－3 青年期		
	4－4 壮年期		◎
	4－5 高齢期		◎
	4－6 女性		

第１章　計画の概要

計画の目的、位置付け、国県の動向、計画期間　等

第２章　いわき市の現状

市民の健康状態　等

第３章　これまでの取組みと課題

市民アンケート調査の結果、現計画(健康・食育)の評価　等

第４章　計画の基本方針

計画の基本理念、施策展開の視点、数値目標　等

第５章　分野別の施策展開

第６章　いわき市健康長寿重点プロジェクト

第７章　推進体制

重点プロジェクト

減塩食普及プロジェクト「いわきひとしお」の推進
～高血圧対策に向けた減塩食の普及・促進～

位置付け

2−1　生活習慣の改善
　(1) 栄養・食生活
　　Ⅰ　健康寿命の延伸につながる食育の推進
2−2　生活習慣病の発症予防・重症化
　(2) 循環器病

主な関連指標

		現状値 (R4)	目標値 (R14)
食塩摂取量の減少 (/1日あたり)	男性	9.4g	7.5g
	女性	8.9g	6.5g

project01　減塩商品・減塩レシピの開発

減塩商品の開発・販売
マルトでの減塩弁当販売

ひとしおLab(ラボ)始動
管理栄養士による減塩レシピ開発

project02　減塩推奨デー「いわきひとしおの日」の普及促進

毎月17日「いわきひとしおの日」のPR
のぼり旗の掲出・スーパー折り込みチラシでの情報掲載　等

project03　官民連携による減塩企画の実施

マルト×味の素連携企画
減塩企画等の実施

事業所内食堂の減塩化
減塩ランチの提供　等

project04　情報発信

広報いわきへの掲載
減塩レシピ等の情報発信

ひとしおPOPの設置
減塩商品へのスイングPOP設置

取組みの視点

- 環境を変える
- 意識を変える
- 行動を変える

重点プロジェクト

スポーツの力を活用した運動習慣づくりの推進

位置付け	主な関連指標		現状値（R4）		目標値（R14）
2−1　生活習慣の改善 （1）身体活動・運動 4−3〜5　ライフコースアプローチ（青年期〜高齢期）	**運動習慣者の増加** （30分以上の運動を週2回以上）	青年期	18.0%	31.9%	40.0%
		壮年期	22.5%		
		高齢期	42.3%		

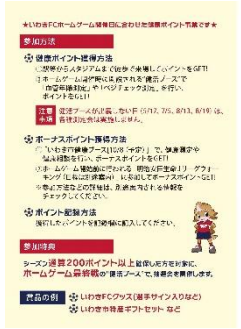
※ その他関連指標
・乳幼児期：身体を使った遊びをする子どもの割合
・学童期：日頃体育以外に運動する小中学生の割合

いわきＦＣと連携した健康づくり

市民・企業向け健康プログラムの実施

スポーツイベント等における健康づくり

健康測定会×健康ポイント事業の実施



健康増進施設を活用した運動教室

運動習慣づくりに向けた健康プログラムの実施

取組みの視点

- 環境を変える
- 意識を変える
- 行動を変える

重点プロジェクト

生活習慣病の発症予防・重症化予防の強化

～禁煙・受動喫煙防止対策の強化、特定健診・がん検診受診率の向上～

位置付け

2−2 生活習慣病の発症予防・重症化予防
(1) がん (2) 循環器病 (3) 糖尿病 (4) COPD

主な関連指標

	現状値 (R4)	目標値 (R14)
脳血管疾患死亡率の減少（10万人あたり）	115.6 (R3)	国平均値
心疾患死亡率の減少（10万人あたり）	235.5 (R3)	国平均値
喫煙率の減少	25.2% (H30~R2)	12.0%

官民連携による禁煙・受動喫煙防止対策の強化

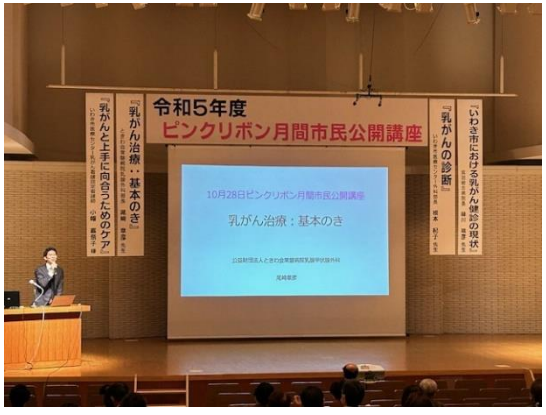
官民連携による禁煙・受動喫煙防止対策の実施

医師等による小・中学生向け健康教育授業の実施

「がん・たばこ」「認知症」等をテーマとした特別授業の実施

健康への意識を高めるセミナー・イベント等の開催

「生活習慣病」「乳がん」等をテーマとしたセミナー等の開催



中山間地域におけるけんしん受診環境の充実

けんしんに合わせた健康教室等の企画の実施

取組みの視点

- 環境を変える
- **意識を変える**
- 行動を変える

重点プロジェクト

壮年期の健康づくり・健康経営の推進

				現状値(R4)	目標値(R14)
位置付け	2−3　生活機能の維持向上 3−2　自然に健康になれる環境づくり 3−3　誰もがアクセスできる健康増進のための基盤整備	**主な関連指標**	**健康経営に取組む企業数の増加** (ふくしま健康経営優良事業所認定数[市内])	39社	**70社**

ＩＣＴを活用した企業向け健康プログラムの実施

ベジチェックを活用した「野菜摂取プログラム」

血糖管理ツール活用した「血糖チェックプログラム」

アウトリーチ型健康講座の実施

肩こり･腰痛対策講座

健康測定会

取組みの視点

- 環境を変える
- 意識を変える
- 行動を変える

重点プロジェクト

子ども・高齢者の健康づくりの推進

位置付け

2−3　生活機能の維持向上
4−2　ライフコースアプローチ（学童期・高齢期）

主な関連指標

		現状値（R4）	目標値（R14）
血糖・脂質検査の改善割合の増加（いわきっ子生活習慣病予防健診事業）	学童期	35.6%	40.0%
「つどいの場」の参加率の向上	高齢期	7.0%	8.0%

若年層からの生活習慣病予防対策（いわきっ子生活習慣病予防健診事業）

血糖・脂質検査、健康教育、個別健康相談等の一体的な実施

シルバーリハビリ体操

住民主体の体操教室の開催

つどいの場×健康教室

つどいの場に合わせたフレイル・認知症予防教室等の開催

取組みの視点

- 環境を変える
- 意識を変える
- 行動を変える

第１章　計画の概要

計画の目的、位置付け、国県の動向、計画期間　等

第２章　いわき市の現状

市民の健康状態　等

第３章　これまでの取組みと課題

市民アンケート調査の結果、現計画(健康・食育)の評価　等

第４章　計画の基本方針

計画の基本理念、施策展開の視点、数値目標　等

第５章　分野別の施策展開

第６章　いわき市健康長寿重点プロジェクト

第７章　推進体制

いわき市共に創る健康づくり推進条例

目的　全ての市民が生涯にわたり心身ともに健康で生き生きと生活ができる健康長寿社会の実現に寄与する

基本理念　市民の健康づくりを、市民、地域団体、事業者、保健医療等関係者及び市が共に創る

健康いわき推進会議

学識経験者、商工団体、保健医療等関係者及び市で構成

市民の健康づくりの推進に関し、必要な事項を調査審議する官民共創の推進体制

下部組織

連携
課題・取組の共有

関連施策に関すること

健康推進企業普及部会

商工団体、保健衛生関係者、地域活性化包括連携協定締結団体等関係者で構成

健康経営及び市民等への健康づくり活動を積極的に行おうとする企業等の取組みを推進

いわき市保健医療審議会

○食育推進協議部会
○歯科口腔保健協議部会
○自殺対策協議部会

重点指標・重点事業を中心とした進捗管理・事業評価等による健康づくり施策の推進